

MCR 学級 社会教育施設見学会

○ 目的

- ・学級生が社会教育施設の見学を通して市の魅力に触れ、郷土愛を深める。
- ・情報交換等を通し家庭教育学級の活性化を図る。

1 戸定が丘歴史公園

(1) 日時、参加人数

10月16日(水) 10:00~12:00 16人

(2) 内容

- ① 開会行事 担当職員と松戸シティガイドの紹介、名誉館長挨拶、
- ② 学習支援専門員による紙芝居
- ③ 参加者の自己紹介による交流
- ④ 見学 戸定邸→戸定歴史館→東屋庭園
- ⑤ 閉会行事 次回 MCR 学級の紹介、諸連絡

(3) 概要

天候に恵まれ爽やかななか、戸定歴史が丘公園の見学会が実施されました。開会行事を戸定邸客間で行いました。見学会を担当する戸定歴史館職員と松戸シティガイドの紹介、及び社会教育課長の紹介を行いました。先ず、齊藤名誉館長からご挨拶をいただき、続けて、田中学習支援専門員による紙芝居「幻の将軍 徳川昭武」を披露していただきました。その後、学級生に配付した名札に記載された班毎に車座となって自己紹介を行っていただきました。短時間でしたが交流を通して仲間づくりにつながりました。

続けて班毎に松戸シティガイドさん先導の元、詳しい解説を聞きながら戸定邸内を見学(40分)しました。戸定歴史館では大沼学芸員による企画展「松平男爵家の軌跡」の説明や展示物の管理維持についての説明(25分)がありました。東屋庭園では庭園整備の経緯や植栽などについて名誉館長からの詳細な説明(20分)を伺いながら、ゴールである東屋まで見学・散策しました。閉会行事を東屋で行い、諸連絡等をして解散となりました。

(4) 参加者の主な感想

- ・名誉館長さん、ガイドさんの説明がとても分かり易く、当時の暮らしぶりが映像としてよみがえるようでした。紙芝居も簡潔にまとめられていて、良かったです。
- ・日本の素晴らしい庭園を見て、五感で感じることができました。情熱的な説明もありがたかったです。
- ・学芸員さんの展示から現在と未来の社会を考えるとという言葉が印象的でした。博物館の見方が変わりました。
- ・何度参加しても新鮮な気持ちでお話を聞かせて貰っています。心がウキウキワクワクします。いくつになっても学びは良いものですね！



2 松戸市立博物館

(1) 日時、参加人数

10月31日(木) 10:00~12:00 17人

(2) 内容

- ①開会行事 主催者(社会教育課長)挨拶
参加者の自己紹介による交流
学芸員より企画展及び常設展についてのガイダンス
見学についての諸連絡
- ②見学 2班に分かれて企画展、常設展、復元竪穴住居の3ヶ所を見学
- ③閉会行事 次回のMCR学級の紹介、諸連絡

(3) 概要

講堂での開会行事では、藤原学芸員より企画展「異形土器～縄文時代の不思議なうつわ～」についてのガイダンスをうけ、また、常設展についても富澤学芸員にガイダンスをしていただきました。それぞれに興味関心が高められたところで見学会が開始されました。

効率良く見学できるようにと配慮し、2班に分かれての見学会となりました。参加者の多くの方が企画展の異形土器に思いをはせ、魅入っていました。各場所にて、学芸員が随時質問に応じてくださったり、復元竪穴住居では博物館職員が説明や実演等をしてくださったりしたので、参加者たちは、松戸市の歴史についてより一層理解を深め、郷土愛が培われたようです。

解散後、再度展示を鑑賞されている姿も見られました。

(4) 参加者の主な感想

- ・毎年、博物館の施設見学にも参加させていただいています。学芸員の方の説明がとても丁寧で興味深いので楽しみにしています。
- ・じっくりと見学ができ、また質問にも応えていただけて、理解がより深まりました。松戸のことが良く分かり、より好きになりました。
- ・異形土器面白かったです。どんな人が作たんだろう？なんでこの形なのか？流れのもようとか、もように意味があるのか？など考えながら見て回るのが楽しかった。家からすぐ近くの所から出てきた土器がとてもキレイで感動した。
- ・復元竪穴住居で、ドングリを割ってすりつぶす体験を実際にやらせてもらえて、石を使って粉にする感覚を初めて知りました。
- ・松戸でこんなに沢山の土器や遺跡がある(あった)とは驚きました。また家族と見に来たいです。

